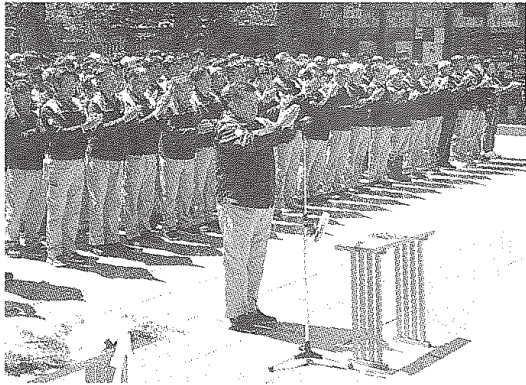


# 無災害へ決意新たに

## 登寿HD 安全祈願祭

【帯広発】宮坂建設工業をはじめとする登寿ホールディングスは9日、帯広市内の帯廣神社で安全祈願祭を執り行った



写真Ⅱ。各社の役員ら521人が参加。ことし1年の無事故・無災害を誓った。

ことしは、宮坂建設工業の本社および札幌支社をはじめ、(株)松本組(函館、大越雄司社長)や(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)などグループ会社8社から総勢521人が参列した。式では祝詞奏上などを行ったあと、宮坂社長が玉串を奉てん。あいさつに立った宮坂社長は、建設業や関連業種で地域住民との関わり合っていることに触れ、会社としての心構えや環境づくりなどにより一層取り組むことを求めた。

## 気持ち良く参拝を

### 登寿HD 神社清掃

【帯広発】宮坂建設工業(株)(帯広、宮坂寿文社長)をはじめとする登寿ホールディングスは9日、帯広市内の帯廣神社と千勝護国神社の清掃奉仕活動を行った



写真Ⅰ。グループ会社8社から521人が参加。手水舎や石畳の汚れを落とし、倒木や落ち葉などを回収するなど境内の景観と参拝客の安全性の向上に汗を流した。

活動は、宮坂建設工業創始者の遺訓である「世の為人の為につくせ」の精神に基づき、1995年から毎年行っているもの。30回目となる今回は、宮坂建設工業をはじめ、(株)松本組(函館、大越雄司社長)や(株)平田建設(土幌、長谷川雅毅社長)などグループ8社から総勢521人が参加した。

社から521人が参加。手水舎や石畳の汚れを落とし、倒木や落ち葉などを回収するなど境内の景観と参拝客の安全性の向上に汗を流した。

豊の汚れを落としたほか、神社の参道や境内を清掃し、清掃を通して倒木や枯れ枝・落ち葉は約3トを回収するなど、神社の景観と参拝客の安全性の向上に貢献した。宮坂建設工業の向山僚常務執行役員総務部長は、これから工事が本格化するこ

とに触れ「日頃の感謝とともに作業の安全を祈願し、グループ全社で丁寧に清掃を実施した。また、十勝の大切な守り神である帯廣神社の清掃奉仕で気持ち良く参拝できる環境を整えることで、地域住民の皆さんに喜んでいただけたら」と話した。本社前の国道39号沿道で恒例の清掃活動を実施した写真Ⅱ。たばこの吸い殻やプラスチックごみなどを手作業で回収。沿道の景観と環境美化に貢献した。毎年、春と秋に行っている地域貢献活動。今回は、谷脇社長をはじめ役員40人が参加した。